

## 松本市立博物館の現在の展示について

## 1 常設展示

## (1) 展示構成

## ア 空間構成

- ・ 2フロア
- ・ 合計 847 m<sup>2</sup>

ただし、地階展示室の一部は常時閉室

## イ 配置位置

- ・ 地階と1階に分かれる。

## (2) 展示内容

通史展示＋民俗展示

## ア 松本の歴史 1 (松本平の古代・中世)

- ・ 松本城築城以前の、古代の人々の暮らしと信仰について紹介する展示
- ・ 主な展示資料：土器、殿村遺跡の地層標本、海岸寺経塚出土の経筒、板碑、孔雀文磬（国重要文化財）、江戸時代の水道資料

## イ 松本の歴史 2 (江戸時代の松本)

- ・ 松本藩主の関連資料と、武士や町人の暮らしを紹介する展示
- ・ 主な展示資料：松本城下町模型、石川康長念持仏、寛永通宝松本銭と鑄造の許状、戸田家伝世の甲冑、松竹梅蒔絵の女乗物

## ウ 松本の歴史 3 (明治から現代へ)

- ・ 松本藩から松本県・筑摩県を経て長野県へ、南北深志町から松本町を経て松本市へ、幕末から明治にかけての動きと、破脚をまぬがれた松本城天守、マチの近代化と松本城保存をめぐる動きを紹介する展示。また戦時下の人々の暮らし、戦後の高度経済成長と変りゆく松本の姿を写真パネルなどで紹介
- ・ 主な展示資料：筑摩県一覧表、会議日誌、筑摩縣博覧会関連資料（建言、入場券など）明阿上人坐像（松本市重要文化財）、日露戦争戦役記念品、絵葉書（災害、記念日、軍都、学都、風景）

## エ 松本歳時記

- ・ 城下町の時代から現在まで受け継がれてきた伝統行事（月遅れのひな祭り、月遅れの七夕、あめ市、道祖神祭り、こと八日）を紹介する展示。また、松本のものづくり（みすず細工、松本てまり、御神酒の口）なども合わせて紹介している。
- ・ 主な展示資料：松本押絵雛、七夕人形（国重要有形民俗文化財）、あめ市の宝船と七福神人形（松本市重要有形民俗文化財）、道祖神木像と男根（国重要有形民俗文化財）

## オ 松本ってどんな街？

- ・ 博物館展示のイントロダクションとして、松本市の基礎知識をパネルで紹介
- ・ 主な展示資料：文字と画像を使った解説パネル

### (3) 展示手法

- ア 壁面固定ケース：ケース内に高さ 30 センチほどの平台・斜台を配置し、その上に実資料を展示。壁面には解説パネルや写真パネルを掲示
- イ 各種独立ケース：ケース内に実資料と解説パネルを配置
- ウ ジ オ ラ マ：七夕人形を飾る縁側、少し前の昔の暮らし（居間の様子）
- エ 露 出 展 示：ケースに入れることが不可能な大きさの資料のほか、みずみず細工や町人の暮らしの道具をアクリルケースなどのガードが無い展示台で展示

## 2 企画展示・特別展示

### (1) 展示構成

- ア 空間構成
  - ・ 1フロア
  - ・ 553㎡
- イ 配置位置
  - ・ 2階

### (2) 展示内容

- ・ 平成に入って以降、比較的大型の全国巡回展の開催は少なく、地域の歴史・文化に関する展覧会を開催

## 3 その他の展示

### (1) ロビー展示

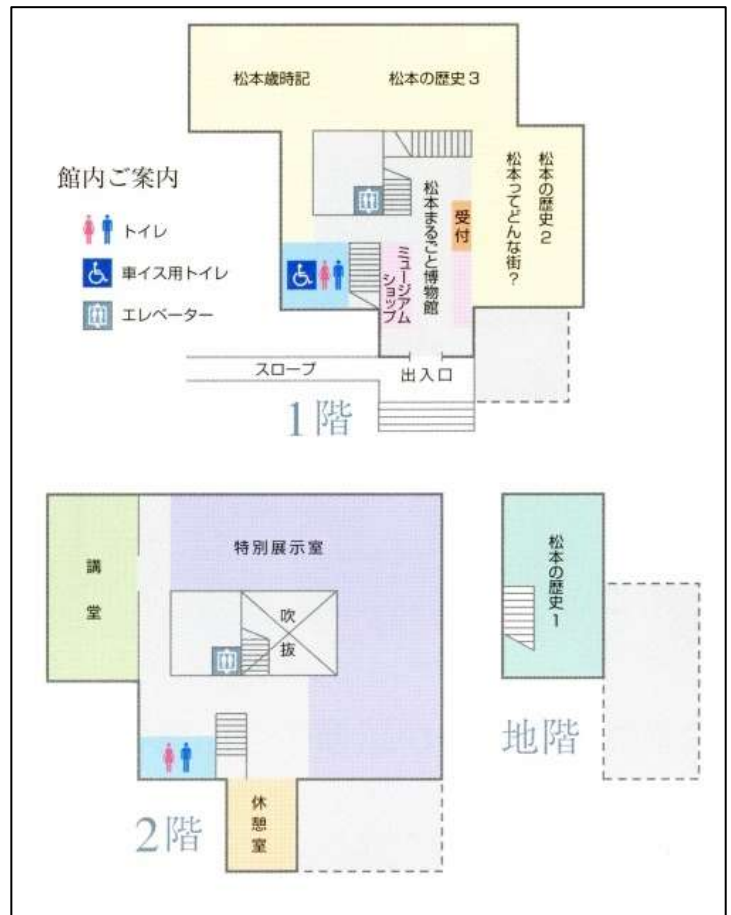
- ア 空間構成
  - ・ 約27㎡
- イ 配置位置
  - ・ 1階受付奥のロビー部分
- ウ 展示内容

- ・ 館蔵資料の紹介等の小規模な企画展
- ・ 映像資料の上映等も行っている。

## 4 展示の問題点

### (1) 常設展示

- ア 展示内容
  - ・ 歴史を時間軸に沿ってたどる展示だが、実資料がない時代は解説パネルだけの展示となっている箇所（国府の移転、信濃守護や山城、古代政治史など）もあり、松本の歴史の全体像をとらえにくい。



- ・大型の資料や移動が困難な資料（松本城下町模型、あめ市の宝船と七福神人形、博物館床に備え付けの美術作品など）があり、展示内容が制限される。
- ・民俗展示は、伝統行事の紹介だけになってしまっている。衣食住など暮らしに関する展示や、山と里の暮らしの比較などの展示が無い。
- ・子どもにわかりやすい内容の展示がない。

#### イ 展示手法

- ・露出展示に対する備え（監視員の配置等）が出来ていない。実物資料を展示しているため、触られることによる資料の劣化（破損）、盗難、塵や埃が資料にかかることが懸念される。
- ・視覚以外の五感を使う展示がなされていない。（体験型展示の不足）
- ・解説パネルの書式（解説文の文字数、文字の大きさなど）が統一されていない。
- ・展示室内に外気や外光が入りやすい構造のため、展示する資料が制限される。
- ・本来展示スペースでない場所（ロビーなど）を展示スペースとして利用しているため、外光による退色や、湿度変化による結露など、資料に負担をかけている。
- ・壁面固定ケースの上部が開いている構造のため、ケース内に害虫が入る場合がある。
- ・ケース内の温湿度が調整できないため、金属製の資料や布製品などの資料を展示することができない。
- ・展示室のライトの光量調整ができない。
- ・ライティングレールの配置が、ハロゲンライトに比べて低コストで、資料に負担をかけにくいLEDライトの使用を加味していない。
- ・展示に使用しない独立ケース等を収納するスペースが作られていない。
- ・展示ケースのメンテナンス（蛍光灯の取り換え等）が行いにくい。
- ・壁面固定ケースの開閉部が限定されており、展示の更新が困難
- ・展示室の出入口に扉が無く、閉室できない。

#### ウ その他

- ・展示室個々の消火設備が十分でない。

### (2) 企画展示・特別展示

#### ア 展示内容

- ・各種周年事業を記念した展覧会に偏りすぎている。
- ・市民・来館者のニーズを汲み取る仕組みがない。

#### イ 展示手法

- ・展覧会ごとに仮設壁を制作しており非効率
- ・上記4(1)イの・斜体文字の8項目

## 松本の歴史

### 松本平の古代・中世

松本城築城以前の社会と人々の暮らしを、土器・石器などの考古資料からご紹介します。



縄文時代の道具



孔産文盤(国重要文化財)

### 明治から現代へ

明治維新から松本市へ。激動の時代を彩った人物や、ちょっと懐かしい生活資料をご紹介します。明治から現代、そして未来へとつながっていきます。



蒸気ポンプ



戦争資料

### 江戸時代の松本

歴代の松本藩主まつわる資料や、江戸時代の人々の暮らしに関する資料から、松本の江戸時代をご覧ください。



松本城下町模型



河田重伝世の甲冑(市重要文化財)



寛永通宝松本銭(市重要文化財)



桃地絵図



松竹梅と桐紋蒔絵の女樂付物(市重要文化財)



江戸時代の生活道具

## 松本歳時記

雄大な自然に囲まれた松本城とその周辺には、全国でも貴重な行事がたくさんあります。そうした松本の“民俗”を、四季の移ろいとともにご紹介します。

### 浮籠籠



松本神籠籠(花魁) 松本神籠籠(内裏)

### コトヨウカ

コト始め(農事始め)の日とされる2月8日に行われる伝統行事。一年の無事を祈り様々な行事が行われます。

### お神酒の口



お神酒の口

### 七天人形コレクション



七天人形(カウタリ)



初市の宝船・七福神(市重要有形民俗文化財)

### お神酒の口



長瀬権伊資料コレクション

### 国重要有形民俗文化財コレクション



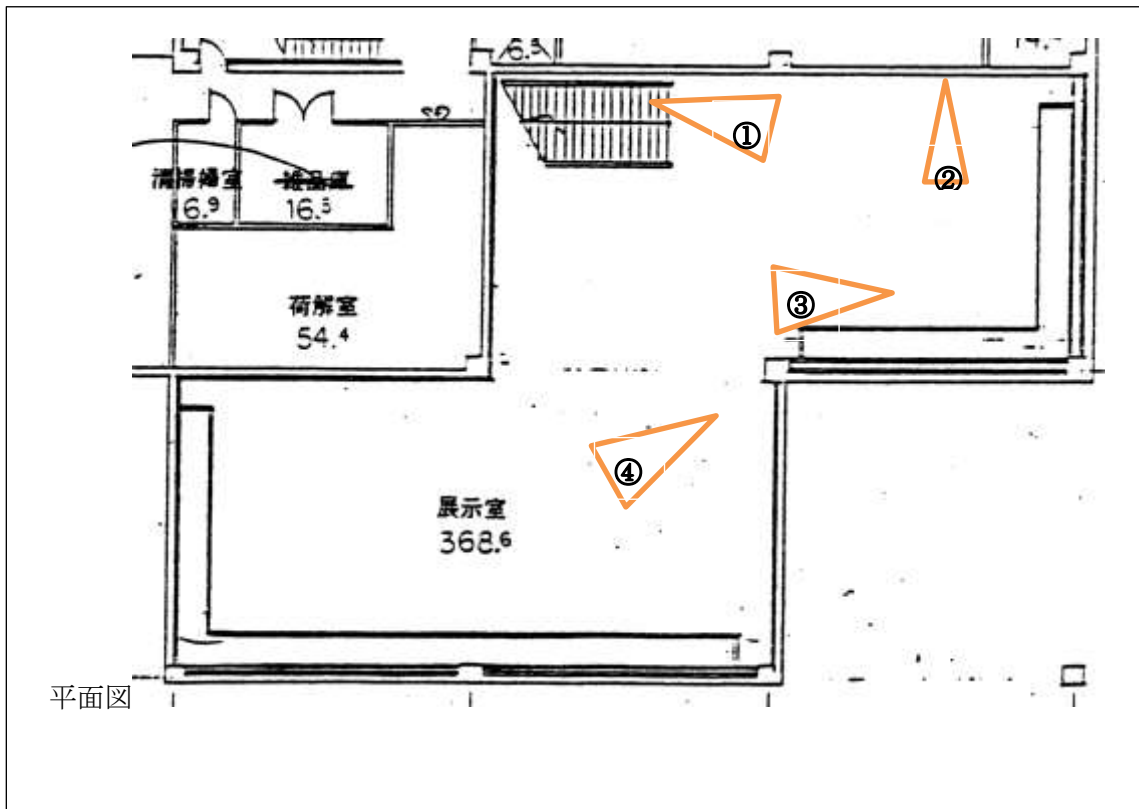
道徳神木像

### 農耕用具コレクション



七天人形(人形形式)

地階(展示部分拡大)

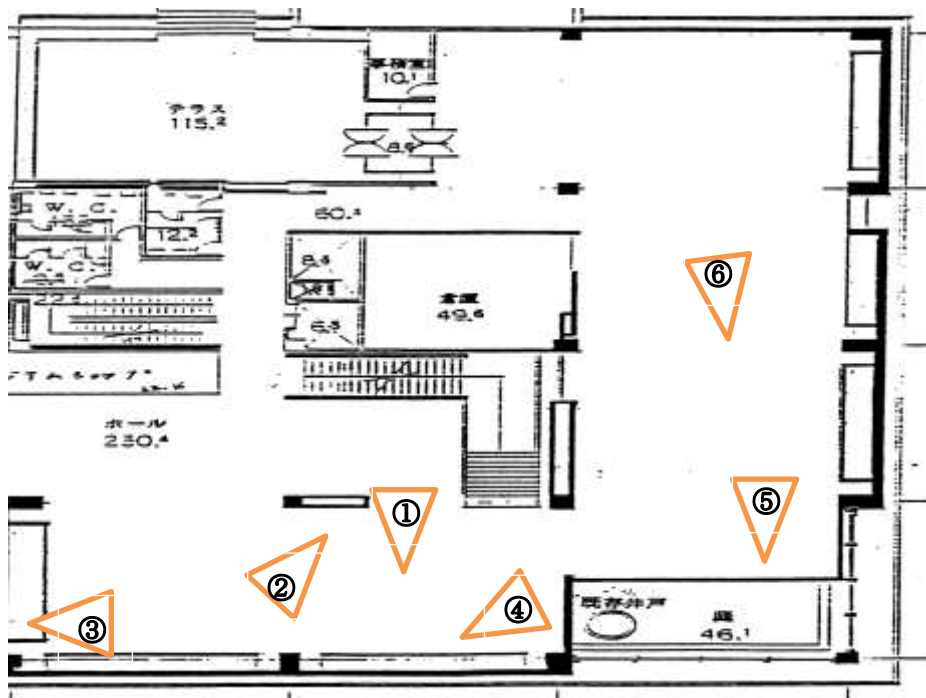


写真



1階(展示部分拡大)

平面図



①



写真

②



③



④



⑤

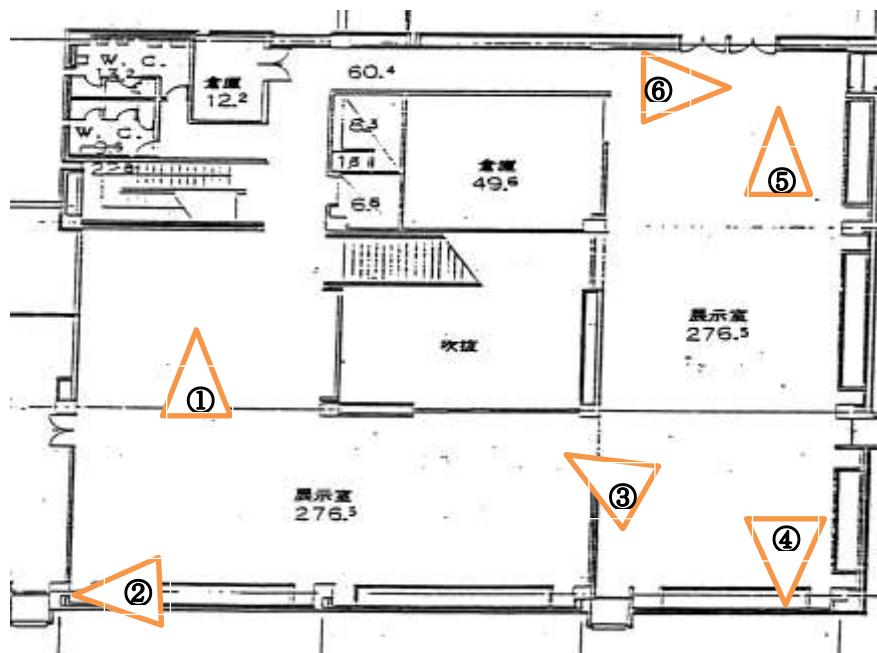


⑥



2階(展示部分拡大)

平面図



写真

